

知教労と武豊町教育委員会との話し合い

2014年10月2日

武豊町役場

1. 勤務条件の適正化、労働安全衛生法の順守および周知

《知教労》 部活動指導が長時間労働の大きな要因になっている体制を見直す必要がある

《町教委》 過熱さみであると認識している。教育委員会としては縮小の方向で考えている。休日の内、最低でも月に一日は部活動休日を設けるように指導している。現に休日が多くなってきている。

《知教労》 豊明では、朝の部活動が縮小・廃止の方向だ。

《町教委》 全体としては、そういう方向だと認識している。教育委員とも縮小の方向で相談していく。個別の事案で、児童・生徒や教員の負担が大きければ指導していく。

《知教労》 ゆめたろうマラソンについて、中学校では、部活動単位で申し込むため、当日は部の顧問が引率と大会要員両方の立場をとらざるを得ない状況にある。部員を引率・指導して特業手当がない。現場では、「おかしい」という声も挙がっている。

《町教委》 引率したら「特業手当」が妥当だと思う。中学生の申し込みは、部活動単位でなく学級で集めて提出すればよいと思う。総合体育館とも調整させてほしい。

《知教労》 学校訪問の負担の軽減・簡易化をしてほしい。

《町教委》 学校訪問は、各校のよいところを見つけに行く姿勢で行っている。

《知教労》 年度初めに学校訪問があり、あわただしいこともある。期日等、もう少し考慮できないか。

《町教委》 平成25年度からは、学校の希望を第1に考え、市町ごとに日程を決めている。定められた訪問期間の中で調整するため、すべて希望通りにいかないこともある。

《知教労》 授業の持ち時間の公平化を進めてほしい。校務主任・教務主任も専科教員である。

《町教委》 校長の裁量である。生徒への対応体制など、学校事情もあるので、一律化するより校長裁量がよいと考えている。

《知教労》 就学時健診は、学校委託から保健施設での実施に移行してほしい。

《町教委》 学校でする項目を最小限にしていきたい。養護教諭からも要望が出ているので、更に検討をしていきたい。

《知教労》 各校とも給食会計を担当が担当しており、とても苦勞している。改善したい。

《町教委》 煩雑であることは認識している。町として最もよい方向を見つけていきたい。

《知教労》 出退校時刻の記録について、町内複数の学校で「管理職から超過時間を80時間以下で記録してくれと言われた」という声が出ている。あってはならないので指導してほしい。

《町教委》 事実なら指導していく。

2. ゆとりある教育の実現するため、教育諸条件の充実 その他

《知教労》 教室の冷暖房化を進めてほしい。

《町教委》 特別支援学級はすべてやった。通常学級については、他の市町の様子も見ながら検討していきたい。

《知教労》 インフルエンザの予防接種について。半田市は、教職員に対して町が補助金を出して接種している。

《町教委》 大切なことであるので、検討材料にさせてほしい。

《知教労》 一斉学力テストの結果をこれまで通り、公表しないでほしい。

《町教委》 その方向だ。数値や順位等公表しない。